岐阜県立東濃フロンティア高等学校

校 長 原 恵市

学校住所 土岐市泉町河合1127-8 電話 0572-55-4151

1 会議の名称 岐阜県立東濃フロンティア高等学校評議員会(第1回)

2 会議の構成 委 員 安藤 実 泉町河合区長

貞任由美子 本校育友会副会長

成瀬 直幸 東濃鉄道多治見営業所助役

松本 律子 土岐市保護区保護司会

山田 利彦 土岐市泉西公民館館長 (五十音順·敬称略)

学校側 原 恵市 校長

白石秀史副校長岩島章雄教頭原美代事務部長

伊納 義朗 教務主任 杉本 知宏 生徒指導主事

清水 香織 進路指導主事

- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や地域の関係機関の代表者及び有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、「開かれた学校づくり」、「特色ある学校づくり」を推進する。
- 4 会議の開催 令和2年7月20日(月) 13:30~15:00 本校校長室 学校評議員5名と学校職員6名が出席
- 5 会議の概要 (1)委員の紹介及び挨拶
 - (2) 学校概要の紹介、学校運営の方針および実践内容説明
 - (3)授業参観(第6限)
 - (4) 教育懇談(意見交換等)

<学校より(挨拶)>

本日はご多用のところ、令和2年度の学校評議員会にご出席いただきありがとうございます。学校 評議員会は、学校運営に際して地域や保護者の方のご意見やご要望を伺い、地域に開かれた特色ある 学校づくりを進めるために設けられております。日頃から感じておられることや、本日の授業の様子 等を見ていただいた中での、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

本年度は「高等学校における特別支援教育の推進」「学習指導要領改訂に向けてのカリキュラム・マネジメント」「教職員の働き方改革」を三つの柱として学校を運営しております。これまで以上に学校、家庭、地域との連携が必要となりますのでご協力をお願いします。また、今春は新型コロナウィルス感染拡大防止のための休校等もあり、生徒や保護者のみなさまにもご心配をおかけしておりますが、オンラインによる学習支援や、感染防止対策等、万全の体制で生徒の支援をしております。

本日は、学校説明や授業参観により、生徒や教職員の様子をご覧いただけるような計画をさせていただきました。どうかよろしくお願い申し上げます。

<学校概要の紹介及び学校運営の方針と重点の説明>

- ①学校概要の紹介
- (副校長)
- ・ 3 部制、単位制、少人数制等の本校の主な特色の説明。
- ②マニフェストの説明 (教頭)
 - ・学校教育目標及び今年度の具体的重点目標についての説明。
- ③ 学校運営の重点の説明
 - 1 教科指導の重点 (教務主任)

- ・少人数制の細やかな学習指導を通して、基礎基本の学び直しを重視した授業を展開する。
- ・多様な生徒に対応するため、ユニバーサルデザインの授業展開や個別の支援計画に基づいた支援を行う。
- ・各教室で電子黒板機能付きプロジェクター等のICT機器を活用して、「わかる授業」づくりを心掛ける。
- 2 生徒指導の重点 (生徒指導主事)
- ・生徒が「安心して安全に過ごせる学校」となるための環境づくりを第一に指導する。
- 「規範意識」と「自己有用感」を育むための機会を与えるよう留意して指導を行う。
- 3 進路指導の重点 (進路指導主事)
- CT (チャレンジタイム)で系統的なキャリア教育を行う。
- ・一人ひとりの生徒の進路希望実現のための「オーダーメイドの進路指導」を行う。
- ④本年度の主なトピック紹介(副校長)
 - 特別支援教育に関する教員や支援員が増員され、個別の支援体制が強化されたことの説明。
 - ・新型コロナウィルス感染拡大防止による臨時休校開始時期からの各方策(オンライン授業、心のアンケート、分散登校等)や、学校再開後の感染防止対策等の紹介。

く授業参観>

第6限の授業を参観

参観授業 3年次 世界史B、日本史B、郷土研究、生活と福祉

2年次 数学Ⅱ、情報処理

1年次 国語総合、コミュニケーション英語 I

<意見交換>

- 意 見1:高校生の実際の授業の様子が見られたことは大変良かった。特に、家庭科の授業での健康の保持に関する内容等、生活に即した内容の授業が行われているのが印象的であった。また、情報処理の授業ではPCを用いた実習が行われていた。これからの社会を生きる高校生にはPCの活用能力は必要であるので、このような授業が行われていることはよいことだと感じた。
- 意 見2:少人数で授業が行われており、生徒がまじめに授業に取り組んでいるのが印象的であった。今の社会に欠かせない、PCの活用に関する授業が行われていて良いと思った。学校経営についてのマニフェストや、教科指導、生徒指導、進路指導に関する各部門の目標もしっかりしているので、その方針や目標に沿って学校を運営していただきたい。
- 意 見3:毎年東濃F高の生徒に協力してもらっている地域での行事が、今年はコロナ禍のために中止せざるを得ない状況である。例年、生徒のみなさんから「小学生にありがとうと言ってもらって嬉しかった。」等、心温まる感想をいただいていた。ボランティア活動は就職試験等とは異なり「失敗が許される」場であり、生徒が思い切り活動できる貴重な場だったので、中止は残念である。思索坂(登校路)清掃については、学校が計画するのであれば協力したい。
 - →学校:毎年、本校生徒や教職員にとって貴重な体験の場を与えていただいてありがたく思っております。本年度の行事実施は難しいとは思いますが、次年度以降もぜひまたお声かけください。思索坂清掃については今後のコロナの感染状況を見て検討いたします。
- 意 見4: 進路に関して、看護師志望の生徒もいるとのことだが、土岐市には医師会が運営している准看 護学校があり、病院に勤めながら看護師の資格が得られるので、看護師になりたいという強い 意志を持った生徒がいれば、選択肢の一つとして紹介してもらいたい。
- 意 見5: ICT機器を活用した授業については、昨年度に比して先生方が「慣れた」と感じられ、生徒も集中して授業に取り組んでいた。しかし、パワーポイントを用いた授業はついつい「流れて」しまいがちであるので、今はコロナ禍で難しいかもしれないが、100分授業を活用したグループでの話し合い等により、「考えさせる」授業が行えるとさらに良いと思う。
- 意 見6:「郷土研究」という授業を参観したが、あのような自分の暮らす地域、地元について学ぶ機会は本当に大切だと思う。郷土の文化を体験的に学ぶという点で、郷土料理を実際に作って食べ

るような機会があるとさらに良いのではないか。

- →学校:授業者からは、「五平餅」や「からすみ」を作って食べる機会もあると聞いております。
- 意 見7: 「オンライン授業」について、時間割を作成して多くの授業を行うのは大変だったことと思うが、このコロナ禍を逆手にとって、こういったオンライン授業の取り組みを、今後の学校の教育活動に生かすような方策について考えるとよいのではないか。
 - →学校:コロナ禍を機に、ある程度はオンライン授業のノウハウが蓄積できたので、今後は気象警報発表時等、生徒が登校できない事態が生じた際にオンライン授業を行うことも考えております。
- 意 見8:山の上の学校で、ずいぶん長い坂の道路を登っての登校となるが、生徒は坂の下の自転車置き 場から歩いて登校しているのか。
 - →学校: 坂道を自転車に乗って登下校するのはかえって大変であるし、特に下りは危険であるため自転 車置き場は坂の下に設置しております。自動車用の道路は距離が長いですが、生徒が歩く階段の 登校路(思索坂)は、上りが15分、下りが10分程度と、思ったよりも距離は短いです。
- 意 見9:少人数の授業で、生徒と先生が自由に意見を述べたり質問をしたりしていた。また、熱中症や 感染予防のためなのか、飲み物を飲みながら授業に取り組む姿もあり、アメリカのドラマの中の 授業風景を見ているようで、フレンドリーな雰囲気が「いいな」と感じられた。
- 意 見10:学校案内パンフレットの中に「給食」の案内があるが、弁当ではなく給食なのか。また、給食は何人分ぐらい準備しているのか。
 - →学校:III部生は給食(夕食)で、I・II部生は弁当(昼食)です。給食の食数については、生徒と職員合わせて1日あたり30食程度を、自校の給食棟で調理しています。
- 意 見11:臨時休校中にはオンライン授業を行っていただいたり、学校再開後は健康チェックや授業中の 生徒の座席の配置等、感染防止のために様々な配慮をしていただいたりしており、本当にありが たく思っている。しかし、オンライン授業は通常授業よりも授業時間が短く(30分授業)、オン ライン授業で学んだ内容が理解できているかが不安である。また、3年生は進路実現に向けて、 休校期間で遅れた学習を取り戻さなければならないため、負担が大きくなることが心配である。
 - →学校:オンライン授業はあくまで「学習支援」であり、オンラインで学んだ事項についても、学校再開後の対面授業の中で必ず再度学び直しているのでご心配なさらないでください。また、休校に伴う学習の遅れについては、夏休みと冬休みの短縮や、学校行事の見直しと精選により、授業時間を確保できるように年間計画を大幅に見直すことで対応します。
- 意 見12:国道から登校道路に入る交差点の右折信号の設置や、暴走行為防止のため、かつて市が道路に 設置した「ハンプ」の撤去等、地域の町内会等から地方自治体への要望を行う際には、可能な範 囲で学校にも協力していただきたい。
 - →学校:内容を精査して、必要ならば東濃特別支援学校や東濃ワークキャンパスとも相談のうえ、可能 なことは協力したいと思います。

<学校より(謝辞)>

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。いただいた貴重なご意見を学校運営の参考にさせていただきます。また、生徒や職員へのお褒めの言葉をいただきましたが、今後の励みとなるよう、生徒、職員に紹介させていただきます。次回は来年2月に実施します。どうぞよろしくお願いします。